

# 枚方市障害者居室体験事業の実施 スキームについて

令和 7 年度第 2 回障害福祉専門分科会資料

# 事業の実施は体験入居支援チームの協議によって行う。

- 実施に当たっては、体験入居支援チームを編成の上で対象者を選定し、相談支援センターより1名の拠点コーディネーターを選出し、チーム協議の上でコーディネーターにより実施計画及び利用計画を作成し在宅サービスの支給決定に至る。
- 並行して相談支援センターにより体験居室を確保のうえで、体験入居を実施する。

## 体験入居支援チーム

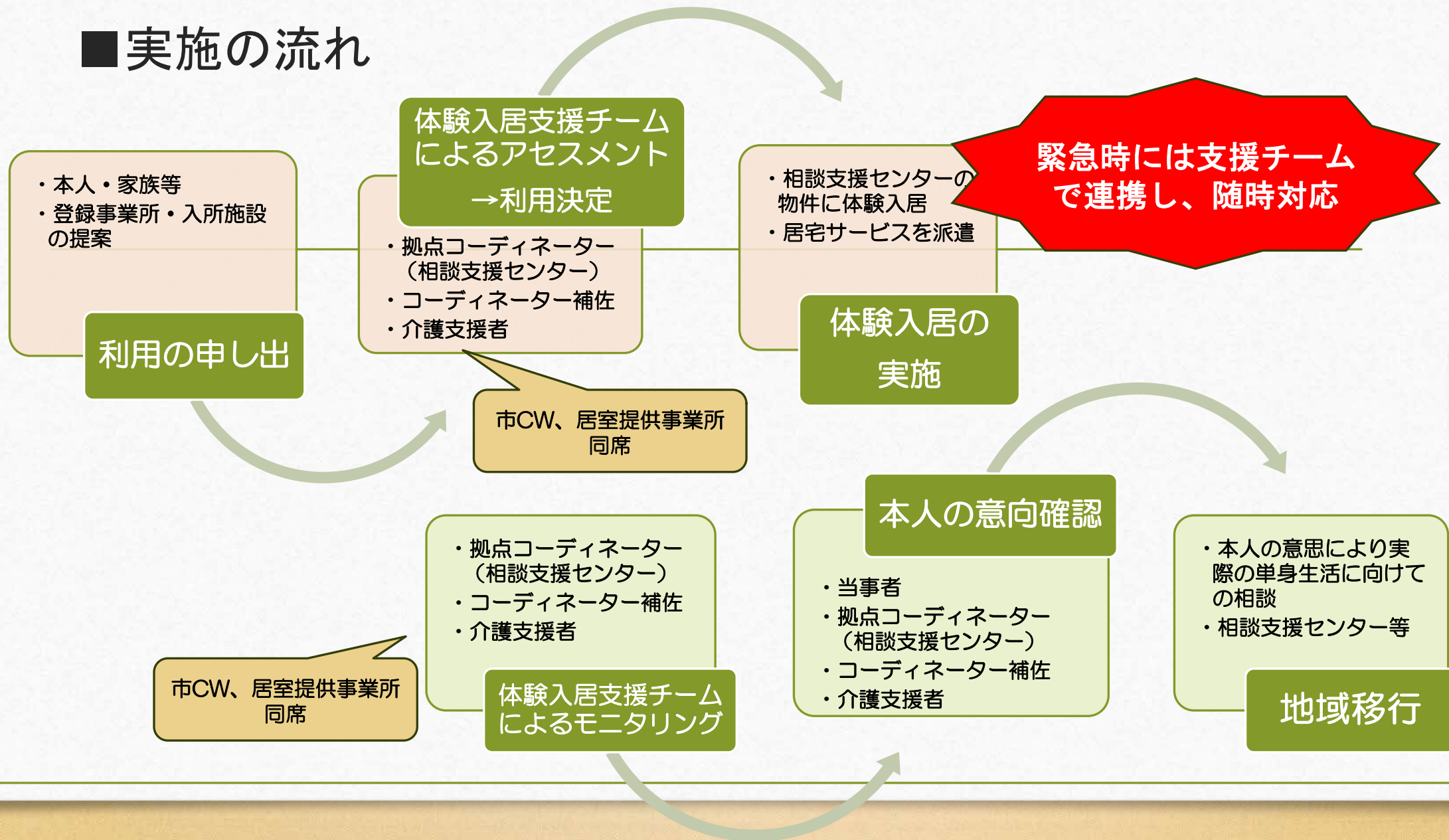
拠点コーディネーター  
(相談支援センター)

コーディネーター補佐  
(対象者を日常的に支援し、体験入居の実施に協力する事業所)

介護支援者  
(体験入居中に在宅の介護支援を中心的に実施する事業所)



## ■実施の流れ



## 報酬支払については拠点コーディネーター及び居室提供の 2事業所との契約による

- 居室確保費用以外の支援チームの報酬については拠点コーディネーターが委託料に合わせて請求し、代理受領の上で各メンバーに支払う。
- 介護支援者は別に介護報酬をシステムで請求、若しくは入所者等の対応の場合は、別の手続きによって、介護報酬相当額を市に直接請求。

### 1回あたりの報酬（委託料）

#### 拠点コーディネーター契約

拠点コーディネーター  
28,240円

コーディネーター  
補佐  
10,200円

介護支援者  
18,340円

#### 居室確保事業者契約

（家賃及び光熱水費等で随時積算）  
・事業所常時契約物件：日割り相当  
・一時的に確保した場合：月額相当